

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

現在、消化器・一般外科では、以前に「全ゲノム配列解析・網羅的遺伝子発現解析による膵臓腫瘍に關与する遺伝子異常の解明(多施設国際共同研究)研究」「分子ネットワーク解析による膵臓胆道腫瘍新規分子診断治療標的の同定」のご協力者からいただいた検体・診療情報等を使って、下記研究課題を新たに下記の共同研究機関と協力して実施するために、検体・診療情報等を下記代表責任研究機関と共同研究機関（下記共同研究機関1と2）に対して提供しています。

この新たな共同研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本学での問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この新たな共同研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名]網羅的ゲノム解析による膵腫瘍ならびに十二指腸腫瘍、胆道腫瘍の本態解明と新規診断・治療法の開発

[共同研究の代表責任機関及び研究代表者]

代表責任機関・研究代表者：九州大学別府病院 外科学講座・教授 三森 功士
本研究に関する問い合わせ先：九州大学別府病院 外科学講座・助教 戸島 剛男
電話：0977-27-1650（内線1670）（応対可能時間：平日9時～16時）
Eメール：toshima.takeo.962@m.kyushu-u.ac.jp

[利用・提供の対象となる方]

2006年4月に開始された「全ゲノム配列解析・網羅的遺伝子発現解析による膵臓腫瘍に關与する遺伝子異常の解明(多施設国際共同研究)研究」（研究責任診療科：消化器・一般外科、研究責任者：樋口 亮太 講師）、2016年6月に開始された「分子ネットワーク解析による膵臓腫瘍新規分子診断治療標的の同定」（研究責任診療科：消化器・一般外科、研究責任者：樋口 亮太 講師）への協力にご同意いただいた膵腫瘍ならびに十二指腸腫瘍、胆道腫瘍の方で、消化器一般外科で手術を受けられた方

[利用・提供している検体・診療情報等の項目]

検体：手術時の凍結組織(腫瘍部と非腫瘍部)

診療情報等：治療前の背景因子（研究登録番号、年齢、PS、病名、組織型、病期、家族歴、喫煙歴、前治療の有無と内容、治療効果・副作用）、臨床検査（血液・生化学検査、腫瘍マーカー、画像検査）や治療に関する情報（治療内容、副作用、治療効果、治療奏功期間、死亡日または最終生存確認日）等を調査する。

[利用の目的]（遺伝子解析研究：有）

腫瘍発生とその原因、腫瘍進展メカニズムの解明について解明することを目的としています。

[共同研究機関及び研究責任者]

1. 大阪大学大学院医学系研究科がんゲノム情報学・教授・谷内田 真一
2. 国立がん研究センター研究所ゲノム医科学分野・分野長・谷内田 真一
他

[利用・提供期間および主な提供方法]

期間：研究許可日～ 2025年3月31日までの間（予定）

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、どなたのものなのかかわからないように安全管理措置（匿名化）をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者： 消化器・一般外科 講師 樋口 亮太

研究内容の問い合わせ担当者： 消化器・一般外科 医局

電話：03-3353-8111（内線25116）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-5269-7507 Eメール：higuchi.ryota@twmu.ac.jp